

NGO-JICA 協議会

「ODA 本体業務における NGO-JICA の連携強化・促進」タスクフォース設置について（案）

2016年6月6日

NGO-JICA 協議会コーディネーター

1. 設置経緯（※過去の議論経緯詳細については前年度一号業務参画促進タスクフォース報告書を参照のこと）

2016年度 NGO-JICA 協議会（以下「協議会」）における年間テーマの一つとして、「ODA 本体業務における NGO-JICA の連携強化・促進」が盛り込まれることが昨年度第4回協議会で合意された。前年度 TF の成果を継続・定着させるために、NGO および JICA がメンバーとして参加するタスクフォース（以下 TF）を今年度も設置する。

2. 活動内容

この TF では以下に示す成果を目指し、そのための活動を行う。

成果

- ODA 本体事業への参画促進及び案件形成を目指す国、セクター、案件に係る NGO からの提案をベースに、ODA 本体業務における NGO-JICA の連携強化・促進に向けた具体的な検討・協議が進められる。
- 上記プロセスを通じて、ODA 本体業務における NGO-JICA の連携強化・促進の可能性・課題等を NGO・JICA 双方で共有する。
- 2015 年度及び 2016 年度の一連の取り組みにつき、NGO-JICA 双方で振り返りがなされる。

活動

- 2015 年度一号 TF において作成した案件リスト（第 1 バッチ）のうち、案件形成の可能性に係る検討結果が「B」以上となった案件について、NGO および JICA の当事者間で具体的な協議を開始し、一定の結論を出す。
- 本取り組みを定着させるべく、昨年度メンバーに加え今年度新たに TF メンバーを募り、案件リスト作成（第 2 バッチ）→連携方針の確認→NGO-JICA の案件形成に向けた情報共有・連携という一連の活動を継続実施する。
- また、2015 年度及び 2016 年度の活動の振り返りを行い、必要に応じたアクションをとる。

3. TF メンバー

今回の TF 設置にあたり以下の条件でメンバー団体を公募する。

- 今年度継続的に TF 参加にコミットし、上記に想定された成果の達成に貢献できる団体
- ODA 本体業務参画の実績を有する団体を含め NG010 団体以内、JICA 関係部署

※参加希望団体は別途協議会事務局からの連絡に沿って関心を表明。

※NGO から 10 団体を超える参加希望がある場合や、NJ 協議会メンバー団体以外の会合オブザーバー参加の可否については、NGO-JICA 双方のコーディネーター間での議論により調整する場合もある。

4. 活動報告

TF での活動については、その経過および結果を協議会の場で報告する。

以上